

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



おくの晋治

区議控室：〒140-8715 品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。
ホームページ：<http://www.jcp-shinagawa.com/>

羽田新ルート

区長はなぜ中止を求めないのか

ついに実機飛行が始まり、想像以上の轟音・威圧感



代表質問をする鈴木ひろ子区議

いよいよこの3月29日から羽田新飛行ルートが正式に運用され始めます。それに先立ち、2月2日から12日にかけては実際に乗客を乗せた飛行機が飛ぶ実機飛行が行われました。

2月19日に始まった品川区議会第1回定例会では、2月20日、共産党の

鈴木ひろ子区議が代表質問の中で、また3月23日には、のだて稔史区議が予算特別委員会の総括質問の中で、実機飛行に基づき区長に迫りました。

2人は**まず**「区長はなぜ新飛行ルートの中止を求めないのか」と迫りました。

区長はこれまでと同様、答弁には立ちません。都市環境部長が答弁に立ちましたが、区長本人の考えを聞いているのですから、まともには答えようがありません。

2人が質した**第2**の点は安全面での降下角度の問題です。

濱野区長は騒音対策と

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

して降下角度を3度から3・5度に引き上げることを求めてきました。しかし、専門家や、約120

か国290の航空会社が加盟する国際航空運送協会（IATA）や、104か国10万人以上のパイロットが加盟する国際定期航空操縦士協会連合会（ICOPA）が、その危険性を指摘しています。

2人は「3・5度の降下角度の危険性をどう認識しているか。今でも正しいと考えているのか」と質しました。

この降下角度については、航空会社の内部資料では、これは騒音対策ではなく米軍横田空域での

米軍機飛行を優先するためだったとされているという問題点もあります。

第3は安全面での落下物の問題です。この点、鈴木区議が、国交省は落下物ゼロを目指すと言っていたのに、2018年は年間452個だった部品脱落が2019年には728個と、1・6倍に激増した点を指摘して、「落下物が危険との認識はあるか」と質しました。

これら安全面についても都市環境部長が安全対策を国に求めていくと答弁したのみでした。

第4に、のだて区議は、国が騒音を76dBと想定している地点で、実機飛行

では81dBの騒音が測定された問題を質しました。

この点、まだ国がデータを整理している最中だという答弁でした。

第5に、鈴木区議は「羽田新ルートは、一部大企業のもうけのために品川区民を犠牲にするものではないのか」という問題を質しました。

羽田増便をあてにした一部大企業による巨大再開発が目白押しです。例えば、東京ドームの10倍以上にも及ぶ羽田空港の

沖合移転後の広大な跡地の開発です。一部は鹿島の建設、京急、JR、野村不動産など9つの大企業が新会社をつくり先端産

業や3千人規模の会議場

など建設。その隣には住友不動産が1700室の日本最大のエアポートホテルや90の商業施設の建設など進めています。

この点についても都市環境部長が国の方針を理解すると答弁したのみでした。

区民の命と暮らしを守る責任を放棄した区長の姿が改めて明らかになりました。

無料 生活・法律相談

（日時）

4月22日（水）

午後6時30分～8時30分

（場所）

おくの晋治事務所

（二葉2-13-1）

事前に5742-6818までお電話ください

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党